

白浜レスキューネットワーク通信 4月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

4月1日～4月30日

電話件数 83件

保護件数 1件

- 11日夜、三段壁で男性を保護した。すぐに駆けつけられなかったため、警察が保護し、NPOにつなげてくださった。親との関係でトラブルがあり、飛び出してきたという。しばらく、共同生活に加わり様子を見ることになった。

生活自立支援活動

4月1日～4月30日

滞在者数 10人(男性10人,女性1人)

自立 1人

自主退所 1人

○20日、2年ほど共同生活を送っていた40代の男性が自立した。滞在中は、コペルくんを積極的に手伝ってくれ、時間のある時は手作りのケーキを子ども達に振舞ってくれていた。自立後は兄妹でお店を経営していくという。ここでの経験を生かして頑張ってもらいたい。

○23日、11日に保護した男性が、置手紙を残し、出て行った。白浜駅にいるのを通りかかったスタッフが目にしたが、話しかけられなかった。その日の夜、再び警察が三段壁でその男性を保護した、と連絡があった。本人と警察との話し合いの上、実家に帰ることになり、翌日迎えに来た親と共に帰宅した。

○まちなかキッチンで働く40代と30代の男性が、お互いのコミュニケーション不足が原因でもめた。しかし、お互いの至らなかった点、今

後の改善点をそれぞれが出し合って終わることができた。最近では、こまめにコミュニケーションをとりながら仕事に取り組んでいる。

○共同生活から自立し、まちなかキッチンで働いている50代の男性が、お弁当の回収時に交通事故にあった。幸い大事には至らなかったものの、もともとの腰の持病が悪化し、毎日、夕方に通院している。

○以前、高校受験の時に勉強を教えていた男の子が、しばらく共同生活に加わるようになった。高校を中退し、アルバイトをしていたが、なかなかうまくいかなかった。ここでの滞在中、一つ一つ足りない部分を補い、良い部分を伸ばしていったほしいと思う。午前中はまちなかキッチン、夕方はコペルくんでももたちの面倒を見ている。

自殺予防活動

・まちなかキッチン

惣菜部門が病院への配達が始まったことに対応し、弁当部門と惣菜部門の今まで以上の連携体制を構築する1ヶ月となった。

買い物の方法、副菜のやりとり、人の配置変換などさまざまな面を改善していき、形にして行った。4月末にはその体制もだいたい形になってきたが、今後、気づいたところをこまめにさらによくしていこうと思っている。

弁当部門は、新たな工事現場や会社などを開拓することができ、新規の注文数が平均30～40個ほどにまで獲得することができた。今後、近隣の宿泊施設が次々と改修工事に入るため、その現場をターゲットにしようと考えている。

惣菜部門は、二つの病院への配達が始まった。それに伴い、アルバイトを3名ほど追加した。

初めは出荷方法を試行錯誤しながらだったため、落ち着かない部分が多かったが、その日その日ごとに方法や物の配置などを変えていった。月の後半は、出荷方法がある程度確立したため、物の質をあげることに力を入れた。感謝なことにとちらの病院でも良い評判を得てきている。

・放課後クラブ「コペルくん」

新年度になり、参加する人数が減ってしまった。毎日平均1～2人の参加であった。6年生が卒業したことや、高学年になったことが影響しているのかもしれないと思っている。来てくれているこどもとしっかりと関わる一方で、今後の方向性を考えている。

・はじめ人間自然塾

8日に隣町にある、平和公園への遠足を企画していたが、天候が優れなかったため、来月に延期した。

・相談電話

5日、12日、19日、26日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。